

大齋節第三主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏 (黙祷)
「ひとよ、汝が罪の」
(讃美歌 21 の 294 番)
E. コッホ作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/300 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 134 篇

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✦ヤコブの手紙 1 章 16~24 節
✦マタイによる福音書 26 章 6~16 節
(新約 P.421、P.52)
応 答 唱 讃美歌 21/32 番
教 話 井上隆晶牧師
『無駄遣いされた香油』

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り (連祷)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/567 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏 (黙祷)
「イエスの担った十字架は」
(讃美歌 21 の 305 番)
H. ヴァン・ニューコーブ作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 澤田昌人
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 未定
受付当番 相澤美子

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
・お話し: 澤田真弓
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈禱会 (礼拝後)
◇教会学校教師会 (礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈禱会
・受難節の祈禱予定表をご覧ください。

【次週主日 3 月 15 日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前 9 時 30 分)
・お話し: 井上隆晶牧師
◇主日朝礼拝 (午前 10 時 30 分)
・聖 書
✦イザヤ 50 章 4~9 節
✦ヨハネ 19 章 1~16 節
・教 話 井上隆晶牧師
『見よ、この男だ』
・讃美歌 21 304、32、311
・交読詩篇 詩編 135 : 1~6
・司式補佐 井上万里子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 畑耕太郎
・受付当番 寺田律子
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈禱会 (礼拝後)

聖 句

「なぜ、こんな無駄遣いをするのか。高く売って、
貧しい人々に施すことができたのに。」

(マタイ 26 : 8~9)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 10 日 (火) 午後 1 時 30 分「大阪YWCA 福祉社会理事会」、午後 4 時「入居者・職員面接」
②《3月~4月の教会行事予定》
■3月8日(日) 午後3時「石丸昌彦精神科医講演会」(大阪福島教会にて)
■3月15日(日) 午後3時「カルト対策委員会講演会」(大阪福島教会にて)
■3月17日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
■3月29日(日)「棕櫚の主日」
■4月3日(金) 午後6時「受難日の葬りの式」
■4月5日(日) 午前10時30分「復活大祭」、礼拝後町内を「十字架行進」、その後「愛餐会」(食事は各自持ち寄りです)
■4月8日(水) 午後2時「大阪YWCA 聖書を学ぶ会」
■4月12日(日) 午後1時「定例役員会」
■4月26日(日) 午後1時「2025 年度教会総会」
③【先週の集会統計】

日	集 会	野	女	大人	計	礼拝献金
1	CS礼拝	—	1	6	7	¥2,150
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
1	朝の礼拝	8	13	2	23	¥13,100
2	朝の祈り	—	—	—	—	
3	朝の祈り	1	3	—	4	
4	朝の祈り	1	4	—	5	
5	朝の祈り	3	3	—	6	
6	朝の祈り	—	—	—	—	

④【3/1の献金報告】

[月定] 井上隆晶、相澤美子、飯田雅子、井上万里子、井上朝子、井上聖一朗、屋宮英男、勝見仁、小坪英恵、小淵公子、小淵賀裕、寺田律子、畑季史子、畑耕太郎、畑真理奈、菱田朱美、山千代憲一、山千代誠子 (計 125,000 円) [感謝] 屋宮英男 (計 2,000 円) [建築] 井上隆晶、飯田雅子、井上万里子、寺田律子、畑季史子、畑耕太郎、畑真理奈 (計 21,500 円) [互助] 井上隆晶、井上万里子、屋宮英男、寺田律子 (計 5,000 円)

【週報表紙の続き】

「信仰とは、いつも神を目の前に置いて行うものなのです。詩編に「彼らは神を自分の前に置こうとしないのです。」(詩編 54 : 5、86 : 14) という言葉があります。神に聞いたのか? 神を目の前にして本当に生きているのか? 問われています。

⑤【この世で油を用意すること】

では油を用意するということはどういうことでしょうか。ともし火が「信仰」であるならば、油とは「聖霊」を意味していると言えるでしょう。油がなければ火が消えてしまうように、聖霊がなければ、信仰告白は出来ないのです。天国に行っても、聖霊という油を用意していなければ、信仰ともし火は消えてしまうでしょう。それは地上でも天上でも実は同じなのです。私たちの中から信仰が出たのではなく、神から与えられたものだからです。聖霊は、洗礼を受けた時その人の中に入りますが、ずっと満ちているのではなく、神を求めなければ徐々に減ってゆきます。その人の中に聖霊が満ちているかどうかは、その人の口から出る言葉を聞けば分かります。怒りの言葉や人を非難する言葉が出れば聖霊は住んでいません。喜びと感謝と賛美が出れば聖霊は住んでいるのです。人は自分の内にあるものが口から出るからです。花婿が来てから聖霊という油を買いに行っても手遅れなのです。つまり私たちがこの世に生きている間に、この世で聖霊を用意しなければならないのです。

アレキサンデル・シュメーマンは「今のクリスチャンたちは、まるでキリストの再臨がないかのように生きている。それが最大の罪である。」と言っています。いつもキリストを目の前に置いて信仰しましょう。キリストの言葉と行いで自分の信仰をチェックしましょう。聖霊という油で満たされて、キリストを賛美し、キリストの王国を見えるようになり、私たちが愛してくださる王であるキリストにお仕えしましょう。